

住民のいのちと健康、福祉を守るために 社会保障施策の拡充を求める要請書についての回答

[大野市]

1. 子育て支援について

- (1) 子どもの医療費助成制度の対象を自己負担なし、所得制限なしで中学校卒業まで拡大してください。また、医療費は「窓口負担なし」となるようにしてください。

平成 22 年 10 月診療分より、小学校 1 年生以上については、一部自己負担はあるが、所得制限なしとして中学校卒業まで拡大した。

「窓口負担なし」については、現在のところ実施の予定はない。実施に当たっては、県内自治体の同時実施が望ましいと考える。

- (2) 就学援助制度の対象を生活保護基準額の少なくとも 1.3 倍以下の世帯までとしてください。また、申請の受付は、学校だけでなく市町の窓口でも受け付けてください。

認定基準、申請方法については、大野市要保護・準要保護児童生徒就学援助事業事務処理要領に基づき実施しており、現行の方法が適切であると考えている。

2. 高齢者医療の充実について

- (1) 75 歳以上の高齢者医療費無料制度を実施してください。

高齢者の医療費は、公費と、現役世代と高齢者の負担で成り立ち、そのうち高齢者は 1 割を負担することとなっている。負担の公平性、制度の継続性の観点からも、高齢者の医療費の自己負担は必要であると考えている。

- (2) 後期高齢者医療制度の保険料滞納者に対する保険証の取り上げ・資格証明書の発行をしないでください。

資格証明書の発行については、保険者である後期高齢者広域連合において行っている。

大野市の被保険者については、電話や訪問によりこまめに連絡を取り保険料の徴収に努めており、現時点では資格証明書発行者はいない。

- (3) 肺炎球菌ワクチンの接種費用の助成制度を設けてください。

定期予防接種の対象となっていないこともあり、国の動向を見て今後検討する。

3. 国保の改善について

- (1) 保険料（税）について